

4.3.どのような情報がほしいか

あなたはテレビ、ラジオ、新聞、インターネットの一般的な情報媒体で、どのような情報を流してほしいと思いましたか。

<仙台市>

- ・給水車などが来る詳細な時間や一度に給水できる量などの細かい情報（仙台市／男性／20代）
- ・交通情報（仙台市／男性／20代）
- ・ありとあらゆること（仙台市／男性／20代）
- ・スーパーの開店状況（仙台市／男性／20代）
- ・店舗の開店状況など生活情報（仙台市／男性／20代）
- ・ライフラインの復旧具合。給水の情報（仙台市／男性／20代）
- ・食料を販売してる情報（仙台市／男性／20代）
- ・避難所（仙台市／男性／20代）
- ・被害の大きな場所ばかりではなく、津波や原発以外にも被害があったことを知らせてほしい（仙台市／男性／20代）
- ・ガソリンスタンドの開店情報（仙台市／男性／20代）
- ・食料や水の供給や、設備の復興状況についてです。（仙台市／男性／20代）
- ・安否情報（仙台市／男性／20代）
- ・メディアや各局ごとに情報がかぶらないように効率的な報道してほしいと思った。（例として A 局は被災地の情報を専門、B 局はライフラインの情報専門のような）今回、特にテレビはその効力を発揮しきれていなかったと思います。（仙台市／男性／20代）
- ・復旧情報（仙台市／男性／20代）
- ・給水ポイント、食料の配給場所（仙台市／男性／20代）
- ・各地の被害状況（仙台市／男性／20代）
- ・給水所及びスーパー等の営業時間の情報。（仙台市／男性／20代）
- ・給水車の状況。何人待ちかとか、危ない所の詳しい情報。（仙台市／男性／20代）
- ・被害の映像（仙台市／男性／20代）
- ・特に無い(多すぎて)（仙台市／男性／20代）
- ・ライフラインの復旧情報、銭湯がやっている場所など（仙台市／男性／20代）
- ・地元メディアや新聞、ラジオでは、現地の被害の程度をいつまでも報道しているのではなく、ライフラインや生活に必要なことに関する情報を主に報道してほしい。被害の様子ばかり映されても何の役にも立たないし、滅入るだけ。（仙台市／男性／20代）
- ・復旧の見込み（仙台市／男性／20代）
- ・食料の調達方法（仙台市／男性／20代）
- ・ライフラインの細かな復旧状況。（仙台市／男性／20代）

- ・特にない。安否情報などを必要な情報を必要なだけ集められるようなシステムがあればよかった。情報の氾濫が逆に難しかった。(仙台市／男性／20代)
- ・地域情報 (仙台市／男性／30代)
- ・生活用品が入手できる店。(仙台市／男性／30代)
- ・物が手に入る場所 (仙台市／男性／30代)
- ・情報媒体は十分な情報を流していた。情報媒体に触れることができるまでに時間がかかった (電気、ガソリンがないため) (仙台市／男性／30代)
- ・どこに行けば水や食料、薬などが調達できるか。(仙台市／男性／30代)
- ・真実 (仙台市／男性／30代)
- ・近隣の情報 (仙台市／男性／30代)
- ・ライフライン、ガソリン等燃料 (仙台市／男性／30代)
- ・食糧・水の配布、販売場所 (仙台市／男性／30代)
- ・スーパーの情報、支援物資の情報 (仙台市／男性／30代)
- ・避難所の案内、連絡先 (仙台市／男性／30代)
- ・停電で使えないメディアばかりでした。(仙台市／男性／30代)
- ・ポジティブな発想になれるような情報。ときどき、政府や地方自治体の批判ばかりするコメンテーターのコメントが流れている時があった。(仙台市／男性／30代)
- ・情報量が多くなりすぎるので何とも言えません。未曾有の事態ですので、ベストな情報が私の住む地域では流れていたと思います。被災度が大きかった地域にもっと多くのアナログな情報伝達手段があれば (人や物、自衛隊や公務員) もっと迅速に伝わればよかったのではと思います (仙台市／男性／30代)
- ・入浴可能な施設の情報 (仙台市／男性／40代)
- ・とにかく普通の生活に戻るのにはいつまで待てばいいか (仙台市／男性／40代)
- ・今回の情報で十分だったので、追加の情報は必要ない。(仙台市／男性／40代)
- ・いつ電気が復旧するか (仙台市／男性／40代)
- ・医療機関の情報 (仙台市／男性／40代)
- ・生活に関するすべての情報と復旧の見通し (仙台市／男性／40代)
- ・給水場所の細かな情報や今後の復旧計画の詳細 (仙台市／男性／40代)
- ・停電中に情報の得ようがなかった (仙台市／男性／50代)
- ・どの店が開いているかとかの情報 (仙台市／男性／50代)
- ・身近なライフライン等の情報～特に地域に密着したものが欲しかった。うちの地域は停電が4日ほど続いていたので、ネットや携帯の充電に窮した。(仙台市／男性／50代)

- ・被災地は情報が入らないので、せめて公共施設に発電装置を備えるべきと思う。それを市民に知らしめ、ラジオと広報車を出し地区ごとに知らせる。今回は、ワンセグとラジオから情報を得たが、不十分で停電ですべての機器が使用できず、また、県、市、区、町内会のいずれも対応ができてない。脆弱性が露呈した警告と思う。(仙台市／男性／50代)
- ・ガソリンスタンドの情報が一番欲しかった。他はほぼまにあった(仙台市／男性／50代)
- ・ライフライン情報。今回は津波、原発と重大で、マスコミはそれどころではなかった。=(仙台市／男性／50代)
- ・自治体やその他の支援の予定。(仙台市／男性／50代)
- ・震災発生後は被害状況ばかりを報道していたので、当事者としてはどこで、何が、何時、提供・販売されるのかが一番知りたかった。近所のスーパーの営業体制や集荷状況、どこの店で何を扱っているか、営業時間等が必要だったが、メディア報道では殆どそのような情報は扱われなかったため、毎日野良犬のように情報収集に歩き回っていた。(仙台市／男性／50代)
- ・避難所の配給や、収容可能人数について。インフラの復旧目途について。(仙台市／女性／20代)
- ・1) どんな内容の震災か(被害状況、津波情報、余震情報) 2) 親類、知人の安否 3) 救援物資(特に食料・水)がどこでもらえるか、炊き出し情報、スーパーなどの開店情報と取扱商品・何時間並んだらお店に入れるか。4) 食料や電気・ガス・水道がいつ復旧するか。5) 銭湯再開情報(お風呂に入れないので・・・) 6) 鉄道・長距離バス復旧状況(仙台市／女性／20代)
- ・被害ばかりだと気が滅入るので明るい情報が欲しかった(仙台市／女性／20代)
- ・細かい情報が欲しい。一口に仙台といっても環境は意外なほどバラバラで実際こちらの地域が断水でも、水が出ているところもあった。住んでいる地域の細かい情報を限定して欲しかった。(仙台市／女性／20代)
- ・非常時の生活の仕方や、住んでる周辺の最新の事(仙台市／女性／30代)
- ・ガス等の供給再開予定 炊き出し・店舗の情報(仙台市／女性／30代)
- ・いつ、復旧するのかという目途(仙台市／女性／30代)
- ・電気も止まっていたのでテレビ・インターネットがつかえず、新聞では当時の情報量で十分でした。(仙台市／女性／30代)
- ・原発事故の状況(仙台市／女性／30代)
- ・冷静な行動を促すような情報(仙台市／女性／30代)
- ・病院の情報(仙台市／女性／40代)
- ・水や食料が手に入る自宅から近い場所を知る為の情報(仙台市／女性／40代)
- ・スーパーなどの品揃え(仙台市／女性／40代)

- ・住んでいる地域に、給水車がいつ来るかという情報が欲しかった（ラジオで）。震災直後は、震災でいったい何がどうなったのか知りたかった（ラジオで言っていることが信じられず、テレビが見たくてしかたなかった）。ネットの匿名巨大掲示板で、ガソリンスタンドの営業情報を常時チェックしていた。実際に役立った。（仙台市／女性／50代）
- ・ガソリンスタンドの営業情報。ガソリン・灯油をそれぞれ何リッター買えるか、待ち時間がどれくらいか。スーパーの生鮮品販売情報。どの店も「当日にならないとわからない」状態だったが、厳寒の中、買えるかどうかわからないものに4時間も5時間も並べない。地区ごとに販売を規制するなど、住民に公平に行き渡るように行政が調整してほしい。（仙台市／女性／50代）
- ・どこで給水出来るか。飲料水でなくて良いならどこで水が出るかも知らせて欲しかった。欲を言えば給水までに何時間かもし知りたかった。小学校へやっとな車を駐車して行ったが4時間待ちであきらめたこともあった。非常事態なので直接行ってみないと正確なことはわからなくても仕方ないと思いますが。（仙台市／女性／50代）
- ・今どんな状態になっているのか、先の見通しが知りたかった。（仙台市／女性／50代）
- ・同じ地区でも出たり出なかったりだったので、もう少し細かく教えてほしい。（仙台市／女性／50代）

<浦安市>

- ・飲料水が売れ余っているお店の情報（浦安市／男性／20代）
- ・地域毎の状況を詳しく教えて欲しかった。全国規模のニュースしか流れないので。（浦安市／男性／20代）
- ・断水情報（浦安市／男性／20代）
- ・水配給といろいろ（浦安市／男性／20代）
- ・リアルタイムな情報（浦安市／男性／20代）
- ・給水所など公共サービスの情報（浦安市／男性／20代）
- ・ライフライン、交通機関の情報（浦安市／男性／20代）
- ・給水等の支援の情報（浦安市／男性／20代）
- ・被害情報（浦安市／男性／20代）
- ・あらゆる情報（浦安市／男性／20代）
- ・断水の復旧状態（浦安市／男性／30代）
- ・水道の復旧見込み、給水場所（浦安市／男性／30代）
- ・どこで水道が使えるかどうか。近隣のコインランドリーや銭湯の場所。（浦安市／男性／30代）
- ・原発の情報（浦安市／男性／30代）
- ・トイレの場所、水が使える施設（浦安市／男性／30代）
- ・銭湯情報 給水所の場所、時間帯（浦安市／男性／30代）

- ・逆に被害状況を発信してほしかった（浦安市／男性／30代）
- ・復旧の見込み（浦安市／男性／30代）
- ・給水車の給水時間・場所（浦安市／男性／30代）
- ・電車の運行情報（浦安市／男性／30代）
- ・ラジオで、地区の情報を流せる放送局の設立をしていただきたい（浦安市／男性／30代）
- ・復旧見込み、給水場所、銭湯の営業状況、トイレの使用可能状況（浦安市／男性／30代）
- ・停電の情報（浦安市／男性／40代）
- ・ライフラインの復旧状況。上下水道は市役所からのメールで把握できましたが、ガスの状況がいまひとつでした。（浦安市／男性／40代）
- ・リアルな自治体の情報（浦安市／男性／40代）
- ・生活情報（浦安市／男性／40代）
- ・ライフラインの損害状況・復旧状況・工事予定・進捗、ガソリンや食糧の備蓄状況や購入の待ち時間、銭湯の情報（浦安市／男性／40代）
- ・リアルタイムでの給水場所、給水時間、給水量（浦安市／男性／40代）
- ・今のままで良いです。（浦安市／男性／40代）
- ・水の放射能汚染。（浦安市／男性／40代）
- ・自分の居住地域が感じている困難を、周辺の人々に知らせるような報道。（浦安市／男性／40代）
- ・復旧情報や計画停電（浦安市／男性／40代）
- ・素早い正確な情報 インターネットが一番役立つ（浦安市／男性／40代）
- ・地元の情報をタイムリーに（TV がデジタル化されているので可能）（浦安市／男性／40代）
- ・今後、液状化が起きないようにするには、どのような対策をとるべきか。被害の状況をセンセーショナルに伝えるだけの情報はやめてほしい。（浦安市／男性／50代）
- ・スーパーで水も買えない状態だった。水を調達できる場所、手段、在庫の数等（浦安市／女性／20代）
- ・断水しているエリア（浦安市／女性／30代）
- ・生活に必要な情報、給水場所・時間、水・ガス・電気の復旧時期等、また、計画停電について、もう少し詳細（場所、時間）を明確に教えてほしかった。（ざっくりし過ぎ）（浦安市／女性／30代）
- ・公共サービスや店舗などの復旧状況と予定（浦安市／女性／30代）
- ・大きな被害を受けた場所以外の被害状況、地域ごと必要な物が貰える場所や配布時間など詳しい事を知りたかった。浦安市はベイエリアのホテルなどでお風呂に入れたりしたみたいですが整理券配布の貰い方がイマイチ分からず1度も行けなかった。そーいった、地域単位での情報が欲しいと思った。TVなど公で放送されると、物珍しさの見物客が増えるので、地元だけに流して欲しかったりするのが本音です。（浦安市／女性／40代）

- 自分の住む地域の情報が欲しいので、口コミに頼るのが一番かと思います。(浦安市／女性／40代)
- どこで何時から水がくめるかというような具体的で密着した情報。メディアで一番役立ったのは地元のケーブルテレビの情報だった (浦安市／女性／40代)
- ホテルの空室状況 (浦安市／女性／50代)